

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月3日(火) 13:30～15:30
- 3 開催場所 協議会会場 大垣工業高等学校 本館1階 会議室
授業参観 機械科棟 機械加工Ⅰ、機械加工Ⅱ、溶接実習室
豊栄館2階 会議室
- 4 参加者

会 長	長瀬 ちえ子	大垣夢ある女性の会 事務部長
副 会 長	脇 直也	育友会会長
委 員	小塚 生開	共立紡機株式会社 代表取締役
	松原 学士	イビデン株式会社 経営企画本部人事部 採用グループ グループマネージャー
	竹中 拓也	太平洋工業株式会社 コーポレート企画センター人事部 主査
	片桐 実智	地域代表
	山本 悦子	育友会3年学年代表 (欠席)
	原川 拓雄	大垣市立西中学校 校長
	中野 たみ子	NPOひまわりの花 理事長
学 校 側	桐山 明宏	校長
	安江 博	副校長
	蒔田 穰	教頭
	田中 卓哉	教頭

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和7年度学校運営協議会 会長、副会長の互選について
- (2) 令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画について(全日制・定時制)
- (3) 令和7年度学校運営機構について(全日制・定時制)

第4次岐阜県教育振興基本計画について説明。

岐阜県教育振興基本計画及び本校の教育指導の重点及び学校経営計画について説明。

⇒(2)(3)について、全委員より承認を得る。

- (4) 学校評価アンケート(保護者用・生徒用)について
- (5) 創立100周年記念事業について
- (6) 意見交換

意見1: 社会になぜルールがあるのか、何のためにルールがあるのか理由が分かると考えて行動できるようになると思う。

意見 2 : 多様性のある生徒、特性のある生徒が増えているため柔軟な対応をしてほしい。しかし、学校で手厚くサポートするだけが良いとは限らない。社会では学校と同様のサポートを受けられないこともあるため、何に自分がつまずいているか認識させることが大切だと考える。

意見 3 : 工業高校の生徒は挨拶ができるし欠席も少ないので頼りにしている。部活動も含めて輝いた経験をした人は働く場でも活躍できるように思う。

意見 4 : 実習を見学したところ実践的な教育が展開されていた。資格取得の目標が実習室に掲示してあったことも良かった。

意見 5 : 安全教育については知識にとどまらず、身につくように徹底していくと良い。

意見 6 : P T A 活動 (育友会) が任意入会であり、部活動の支援事業など運営が大変だとは思いますが、半強制とならないようにしながら活発な活動を望みたい。

意見 7 : 先輩の話を聞く機会があるのは生徒にとって貴重な経験になると思う。参観中にインターンシップに参加してくれた生徒と話をする機会があって良かった。大工になりたいという将来の夢を変わず追い求めていて応援したくなった。

意見 8 : 工業高校は体育会系というイメージが強かったが、実習の様子を見ると、部活以外にも真面目に取り組む姿勢があってよかった。実習では少人数が展開されており生徒が真剣な目つきをしていた。

意見 9 : 中学校では普通科志向が強いが、工業高校では実習ができるので工業高校の魅力を中学生にも伝えたい。

(7) 今後の学校運営協議会等の日取りについて

6 会議のまとめ

令和 7 年度の本校の教育指導の重点及び学校経営計画、運営体制を説明し、学校運営の基本方針について、参加した全委員の承認を得た。また、実習の見学や先輩と語る会の参観により、専門的な実技に取り組む生徒の姿や、地域企業に勤める先輩とのつながりを見ていただくことで、本校の教育活動についてより一層の理解が図られた。

今年度は本校創立 1 0 0 周年を迎え、卒業生や地域の注目をされている。通常のエ育活動のみならず、1 0 0 周年を節目とした学校行事等を通じて、社会を生き抜く生徒が育成できるよう、委員には引き続き本校教育活動への理解と支援をお願いし散会した。